

令和３年度 第１回 東京都移動性向上委員会 議事概要

日時：令和３年８月２３日（月） 15:00～17:00

場所：国土交通省 関東地方整備局 東京国道事務所 15 階第２会議室（WEB 会議）

○議事内容

- （１）委員会の開催経緯と論点
- （２）最新の交通状況による分析
- （３）主要渋滞箇所の進捗状況及び見直し
- （４）渋滞対策箇所の状況
- （５）TDM 施策の検討

○議事要旨

- （１）委員会の開催経緯と論点
 - ・これまでの委員会の開催経緯と今回委員会の論点について報告した。
- （２）最新の交通状況による分析
 - ・最新のプローブデータによる東京都内の交通状況について報告した。
 - ・H31.1 から R3.5 末の旅行速度及び交通量の推移を基に、コロナ禍における都内の交通状況の変化について報告した。
- （３）主要渋滞箇所の進捗状況及び見直し
 - ・今年度のモニタリング結果において、対策が未実施または実施中の交差点で、５年間連続でモニタリング指標の基準値をクリアしている２箇所については、関係機関へのヒアリング及び交通状況分析を実施し、次回委員会において解除の可否について審議することとした。
- （４）渋滞対策箇所の状況
 - ・対策済みであるが主要渋滞箇所の解除に至っていない箇所の状況及び国道 254 号熊野町交差点のピンポイント対策の状況について報告した。
 - ・対策済みで十分な効果が既に現れているが、区間や地点の固有の特性によりモニタリング指標をクリアすることが原理的に不可能と考えられる箇所については、そのような場所を主要渋滞箇所から除外するための方法について、今後検討した方がよいのではないかとの意見があった。
 - ・交通状況の判断において、管制システムの渋滞情報データを活用することも考えられるとの意見があった。

(5) TDM 施策の検討

- ・ TDM 施策検討候補箇所選定の流れについて報告した。
- ・ コロナ渦の交通状況を見ると、TDM による円滑性向上効果は明らかであり、需要をマネジメントしていくことは、重要なことである。但し、東京都内において個別交差点への対策として、TDM 施策を実施するのは難しいのではないかと
いう意見があった。

以上